

# 岡谷市住宅用再エネ設備等導入促進事業に関するアンケート

## 結果報告書

### 1 概要

岡谷市では、令和4年度から蓄電システム、令和5年度からV2Hの家庭への導入に伴う経費の一部に対する補助を行っています。

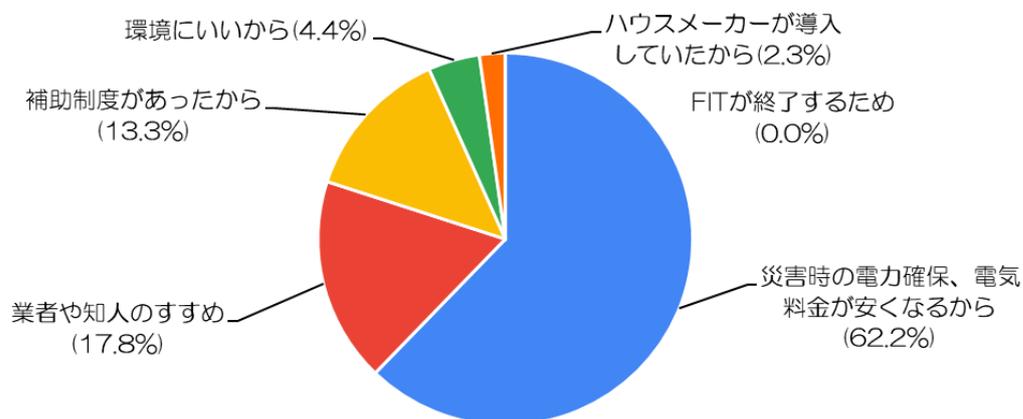
市民のニーズなどを把握し、今後の事業展開を検討するため、下記のとおりアンケートを実施しました。

- (1) 方法 令和4年度～令和6年度に補助申請を行った方を対象にアンケートを送付。回答はWeb及びE-Mailのいずれか
- (2) 調査期間 令和7年3月19日から令和7年4月18日
- (3) 調査対象 81名
- (4) 回答数 45名（回答率55.5%）

### 2 アンケート結果

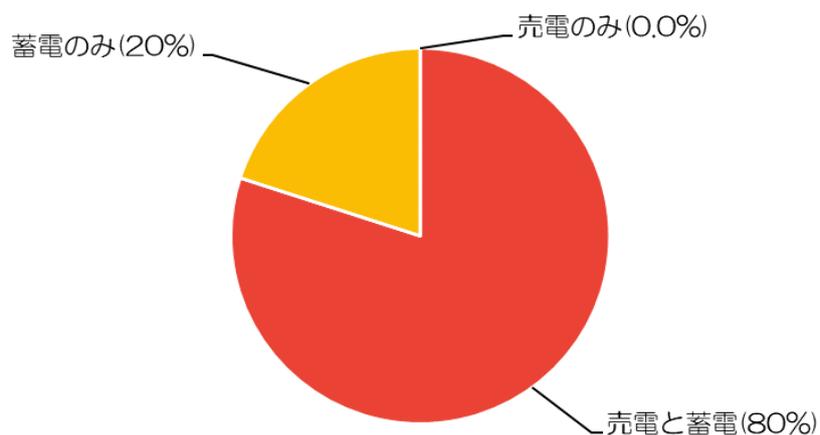
#### Q1.蓄電システムを導入したきっかけ（単一回答）

選 択 肢	回答(人)
災害時の電力確保、電気料金が安くなるから	28
業者や知人のすすめ	8
補助制度があったから	6
環境にいいから	2
ハウスメーカーが導入していたから	1
FITが終了するため	0



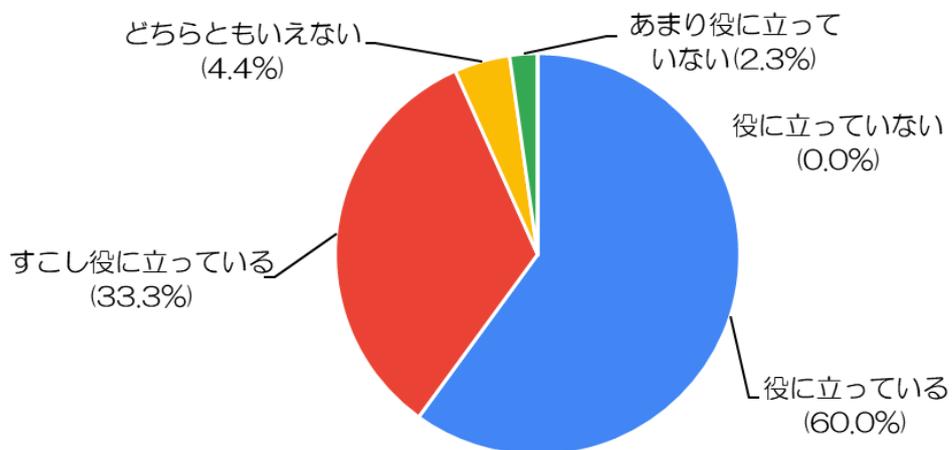
Q2.蓄電池に蓄電した電気はどのように使用していますか（単一回答）

選 択 肢	回答(人)
売電と蓄電	36
蓄電のみ	9
売電のみ	0



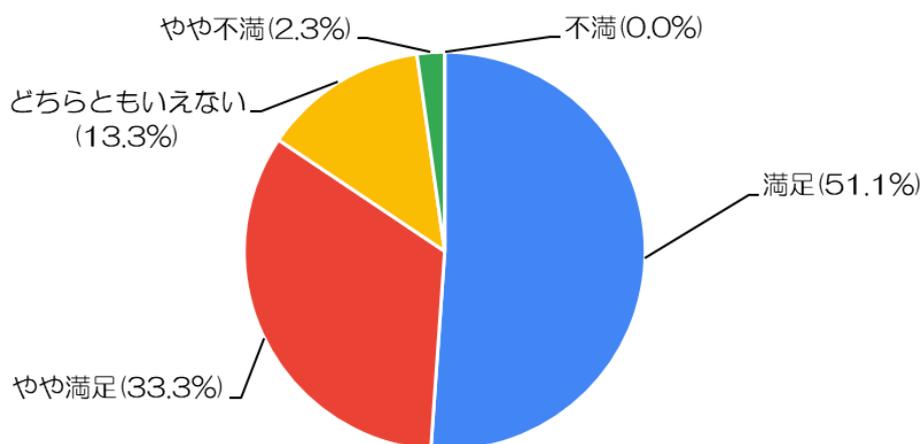
Q3.蓄電池の設置が光熱費節約に役立っていると感じますか（単一回答）

選 択 肢	回答(人)
役に立っている	27
すこし役に立っている	15
どちらともいえない	2
あまり役に立っていない	1
役に立っていない	0



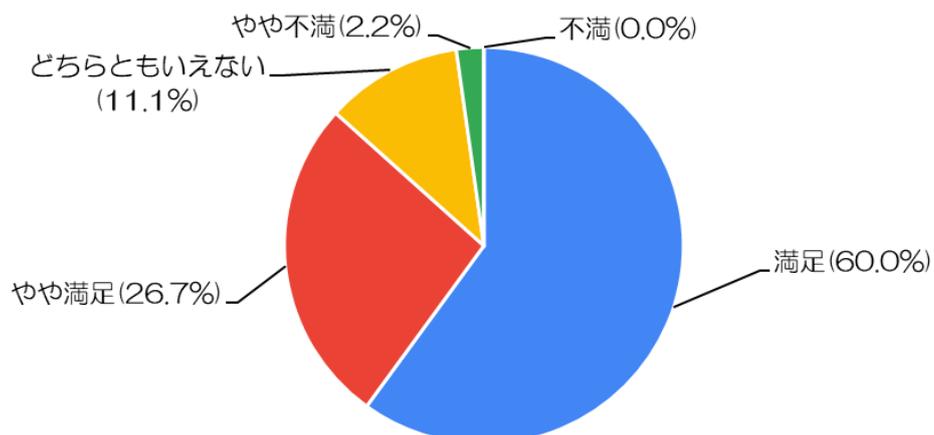
Q4.蓄電システムの満足度を教えてください（単一回答）

選 択 肢	回答(人)
満足	23
やや満足	15
どちらともいえない	6
やや不満	1
不満	0



Q5.太陽光発電システムの満足度を教えてください（単一回答）

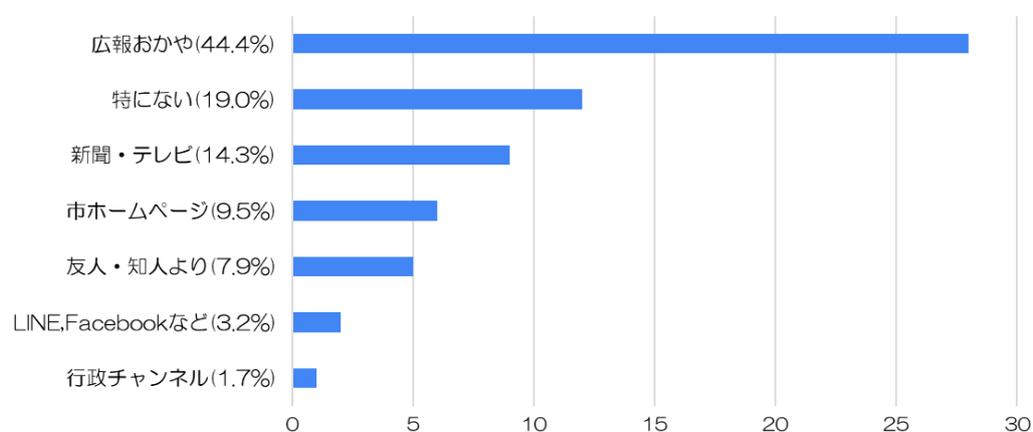
選 択 肢	回答(人)
満足	27
やや満足	12
どちらともいえない	5
やや不満	1
不満	0





### Q8.岡谷市の環境に関する情報をどこから入手していますか（2つまで）

選 択 肢	回答(人)
広報おかや	28
特にない	12
新聞・テレビ	9
市ホームページ	6
友人・知人より	5
LINE,Facebook など	2
行政チャンネル	1



### 3 まとめ

Q1、Q2 の回答から、蓄電システムを導入した主な理由は「災害時の電力確保」であり、「自家消費」を目的としていることが分かります。

これまでは、「売電」を目的とした太陽光発電システムの導入が主流でありましたが、近年は、地球温暖化が原因と言われる自然災害が多発しているほか、FIT の終了による売電価格の下落、買電価格の高騰など様々な要因から、「自家消費」に切り替える方が多い傾向にあります。本市においても同様であることが分かります。

また、Q3.の質問では蓄電池を設置したことにより光熱費の節約に役立っていると感じている割合は全体の 93.3%と非常に高い割合でした。蓄電池を導入された方のほとんどが、実際に光熱費の低減を実感しており Q3～5 の回答から、システム導入に対する満足度の高さも伺えます。

自由記述である Q7 においても、「電気料金」や「まかなえる」のほかにも、「非常時」、「災害時」という単語が頻出しており、導入された方が、災害時の電力補助としての機能を期待されていることが分かります。

以上のことから、二酸化炭素排出量が少ない再生可能エネルギーの普及と、災害時のレジリエンス強化を図る上でも、太陽光発電システムと蓄電システムの導入促進をはかることは、ゼロカーボンシティの実現に有効な手法であることが分かりました。